

VTR の兄弟は、一生懸命、お母さんのために働いていたのに、兄弟への給料が少なすぎるのがひどすぎると思ったので、フェアトレード商品を買おうと思いました。
あと、家族や友達にフェアトレード商品のことや VTR のことを話そうと思いました。(1 年男子)

話を聞き始めた時は、「フェアトレード」という言葉を聞いたこともなかったし、意味もさっぱり分からなかったけど、言葉の意味、大切さ等、たくさん理解することが出来た。
これから買い物に行った時は、フェアトレードの商品を探してみようと思う。(1 年女子)

VTR を見て、すごいかわいそうだと思った。
フェアトレード・チョコレートを買う等、寄付付きチョコレートを買う等、自分に出来ることはやろうと思った。(1 年男子)

ガーナの子も達が、一日中仕事をしないで学校に行ける様になる様に、フェアトレード商品を買ったり、フェアトレードについて広めていきたいと思った。(1 年女子)

ガーナ等の西アフリカで働いている子ども達は、“チョコレート”という物を知らないで、ただ懸命に働いているのが、つらいんだろうと思いました。使われる目的を知らないで行動するのは、私だったら困難だと思います。これからは、フェアトレードを意識して生活していきたいと思います。(1 年女子)

最初は、フェアトレードが何か分からなかったけど、最終的には分かりました！
フェアトレード・チョコレートを食べてみたくなりました。
それと、VTR の続きがとても気になります！
フェアトレード・チョコについて、自分達が出来ることをなるべくやろうと思います！
みんなの協力が必要だと思います。協力したいです。(2 年女子)

子ども達が、親や自身の為に働き、お金を稼ぐのは大変なことだと思いました、しかし、労働者と称して奴隷にしたり、人身売買や長時間の労働を強いるのは、ひどいと感じました。
私は、フェアトレードについて学ぶことが出来たので、家族に話し、子ども達を助ける為に協力したいと思います。(2 年女子)

僕は、今までガーナという国は、全面的に明るい国と思っていましたが、陰では貧しい中、必死に働いている子ども達がいると知って、これからはフェアトレード商品を多く買おうと思いました。
そもそも、子どもを奴隷にするのがおかしいと思うし、カカオ豆が何になるかも知らないまま、働かせてるなんて信じられないと思います。
まして、6 歳位の子どもにも 12 時間以上働かせて、ごはんは貧しいだなんて、大人がやることじゃないと思ったのと同時に、「この子達を助けたいな。」と思いました。(2 年男子)

あらためて、日本は恵まれていると思いました。

ガーナはご飯が1日2回に比べて、日本は1日3回っていうことと、日本では子どもが働くことがないのに、ガーナでは子どもが仕事をしてることを知り、親、親戚に教え、自分でもチョコを買ったりして、あとフェアトレードについて調べたりしていきたいです。

今日は知らなかったことも知ることが出来てうれしかったです。(2年女子)

フェアトレード商品を買うという意見が多かったし、班の中でも購入をしていこうという風にまとまったので、フェアトレード商品をスーパー等でも買っていきたいです。

ガーナの子ども達は、僕達と同じかそれよりも幼い子ども達なのに、僕達よりも辛い状況で頑張っていました。

だから、彼等が少しでも楽に生活出来る様に、フェアトレードについて考えていきたいです。

(2年男子)

フェアトレードのことを学び、私達が好き嫌いしている中で、ガーナや途上国では、貧しくて食べられないのが、この世界にもあるのだなと思いました。

私達が、普段残している給食、それを食べられない人達が、今もこの世界にいる、そして、食の大切さを学びました。(2年男子)

VTRを見て、アフリカの子ども達は、勉強が出来ない中、仕事をしているので、自分達は国の人や家族に支えられ、勉強が出来るので、しっかり勉強をしていきたいと思いました。

今日は、チョコレートが例でしたが、他にも「フェアトレード」公平な貿易が出来ると思います。自分から積極的に考えて行動していきたいと思います。(2年女子)

うちは、『Fair Trade』っていう活動を知りませんでした。

でも、話を聞いていくにつれて、親よりも子どもの方が働いていたり、人身売買をしていたり、子どもの奴隷が約28万人いることとかを知りました。

それに、うちらが、『Fair Trade』の商品を買うことで、労働者の給料が2倍になるから、みんなに『Fair Trade』の商品を周りに広めることが、一番大事だと思いました。(2年女子)

フェアチョコレートの存在を知って、意識して、チョコを買おうと思った。

小さなことでも、世界に役立てたいと思った。(2年男子)

フェアトレードマークの付いた商品を実際に買ってみました。

私が買ったのは、フェアトレードマークの付いた板チョコレートとオレンジです。

チョコレートは甘みが強くて美味しく、オレンジは酸味があって美味しかったです。

これからは値段が高くても、フェアトレードの商品を買うようにしたいです。

来年のバレンタインは、フェアトレードのチョコを購入したいと思います。(2年女子)

世界には、食べ物をたくさん食べたくても、食べられない国があると知り、好き嫌いをしたり、ご飯を残したりするのは、いけないことだと思いました。

それと、子どもが親の為に働いていることに驚きました。

学校に行きたいけれど、行けない子がいる事にも驚きました。(2年女子)

僕は、このフェアトレードのVTRを見て、値段は少し高いけど、積極的にフェアトレードの商品を買っていこうと思いました。

フェアトレードの商品を買うことによって、その商品を作った人にお金が入って、労働者は少しでも楽になるかなと思うからです。

実際の笑顔は、見れないけど、その労働者が笑顔になるところが想像出来るので、自分が良いことをしたという優越感が芽生えると思います。

お金に余裕がある時は、フェアトレードの商品を買う様にします。(2年男子)

以前、英語の単元で「フェアトレード」について勉強した事がありました。

その時に、買ってみたいと思ったのですが、忘れていました。

しかし、今回の講義を受けて、再び「フェアトレード」の色々な製品に関心を持つことが出来たので、今度こそは、買ってみようと思います。(3年女子)

フェアトレードは、英語や社会の授業で少しだけ勉強したので、少しは知っていたのですが、あまり詳しいことは知らなかったもので、この機会に知ることが出来て良かったです。

今まで店頭でフェアトレード商品を見たことはなかったのですが、もし見つけたら、積極的に買いたいと思います。(3年女子)

VTRを見て、私はフェアトレード・チョコを買おうと思いました！

なぜならVTRでは、カカオ農場で働かされている子ども達は、カカオ豆が何になるのかも知らないで、夢をあきらめて、絶望しているからです。

なので、少しでも農場の子ども達に希望を与えてあげたいという思いから、私はフェアトレードチョコを買おうと思いました！(3年女子)

僕は、最終的に「フェアトレードに関心を持ち、行動にうつす」という考えに至りました。

フェアトレードについての知識を深め、それを実際に試してみるということです。

今日のビデオを見て、ガーナの色々な人々を知り、とても可哀想だと思いました。

だから、フェアトレードの製品を買い、少しでも、ガーナ等で働いている人に貢献出来たらいいと考えたからです。(3年男子)

VTRを見て、ガーナで働いている子ども達の状況を詳しく知ることが出来ました。

また、フェアトレードについても、しくみ等を今まで以上に理解出来ました。

それによって、これから自分が何をしたら良いか考える良い機会になりました。

他の人の考えも聞けて、自分の思ったことを考え直すことも出来ました。

今日学んだ事を踏まえて、これからは積極的にフェアトレード商品を買って、まずは身近な人にフェアトレードについて話してひろめていきたいと思います。(3年女子)

前から、フェアトレードを聞いた事があったけれど、そこまで知らなかったけど、今回の授業を聞いて、もっともっと世界に貢献していきたいなと思いました。

私は前に、フェアトレードのチョコレートを買ったことがあったんですけど、これからも、フェアトレードの物を見つけたら色々買っていこうと思いました。(3年女子)

自分とさほど変わらない年齢の子どもが、少ない賃金で1日中働き、学校にも通えないでいることを悲しく思った。

また、自分達が収穫しているカカオがチョコレートになることを知らないのが、かわいそうだと思った。

ガーナで働いている子ども達がチョコレートの存在を知り、働かなくても学校に通える未来を実現させる為にも積極的に、フェアトレード・チョコレートについて学び、行動にうつすべきだと、この講習会を通じて感じた。(3年女子)

今日、VTRを見て、ガーナの子ども達は勉強したくても勉強出来なくて働かなきゃいけないのは、かわいそうだと思います。

英語や社会でフェアトレード・チョコについて勉強して、フェアトレード・チョコレートをみんなで買ったなら、ガーナの子ども達等に寄付され、学校等の設備の為なら、私はチョコレートが食べなくなったら、フェアトレード・チョコレートを買おうと思いました。

身近な人にガーナの子ども達やフェアトレード・チョコレートについて、教えて広めていこうと思いました。(3年女子)

フェアトレードの商品を買うと、ガーナで働いている人を助けることが出来るので、これからもフェアトレード商品を買おうと思いましたが、自分一人だけではだめなので、まず、たくさんの人に話して、フェアトレードについてを知ってもらえばよいと思った。(3年男子)

今までは「フェアトレード」という名前だけは知っていたけど、英語の授業や今回の授業で、ガーナで働く子ども達の気持ちや、フェアトレードの詳しい仕組み等を理解することが出来た。なので、これからは、ただフェアトレード商品を買うのではなく、よく考えた上で買いたいと思った。(3年女子)

まず、フェアトレード商品を積極的に買ってみたいと思いました。

しかし、自分だけ、または、フェアトレードについて知った私達だけが商品を買っても、ガーナ人達全員を救うことは出来ないと思います。

なので、身近な人に今回学んだ事を話し、協力をしてもらおうと思います。

フェアトレード商品に対して知識のある人が増えれば、購入する人も増えていくでしょう。

今回の講演会で、私は授業で習った時以上にフェアトレードについての理解が深まりました。

たくさんのガーナの労働者が救われる様、私も協力したいです。(3年女子)

今は、フェアトレードの商品を買うのは難しいけど、大人になって自分で働いてお金を稼げる様になったら、日用品でもなんでもフェアトレードの商品を買おうと思った。

また、クラスのみんなで話して出た色々な意見の中でも、寄付や募金をしたり、ガーナに住む大人に薬や働ける場所を提供したり、自分の親や友達にフェアトレードのことを伝える様にしたいと思った。(3年女子)

VTRを見て、クラスの話し合いで色々な意見が出て良かった。

例えば“自分たちの意識をかえる”“自分達の生活を見直す”“フェアトレードを扱っている会社について調べる”“ガーナに住む大人に対して仕事を提供する”等。

今、私達のおこづかいでは買えないので、誰かに教えてあげたり、大人になって買いたいと思った。(3年女子)

今回の授業で、自分達がどれだけ幸せなのかということ深く理解すると同時に、ガーナの子ども達の現状を改めて痛感させられた。
自分達と彼等は同じだけの権利を持っているのだから、この現実を受け入れて自分に出来ることをやっていきたい。(3年男子)

いつも買っているチョコレートが、こんな価値があるなんてしらなかった。
子ども達の努力、支援している団体、会社の努力が、1枚の中につまんでいることを知りました。
先進国では、食べ残しがたくさんあって、その量は、貧しい子ども達を、何千万人も助けられると、テレビでしていました。
チョコを買うことも大切だけど、食べ物、物を粗末にしないのも大切だと思います。
今、貧しい子どもが「成長したら、どうなってしまおうだろう」と思いました。(3年女子)

今、自分達は、いやでも勉強しています。
けれど、ガーナの人達は行きたくても、学校に行けません。
なので、私達は、すごく恵まれていると思いました。
ガーナの人達のことを忘れず、出来るのがあたりまえに思わず、がんばりたいです。(3年女子)

今回の食育講演会を受けて、自分は何が出来るのかを考えました。
私が考えたのは、人にチョコレートのプレゼントを渡す時は、フェアトレードのチョコレート等を買って、アフリカの子達にチョコレートはどういう物なのかを教えてあげる。
そして、いろいろな人達にフェアトレードの事を伝える事が出来るのではないかなと思いました。
(3年女子)